

中山間地域農村活性化総合整備事業（一般型）

土地改良事業計画概要書

みのせいぶ

三野西部地区

徳島県

（三好市）

第1章 変更を必要とする理由

1 計画変更に至った経緯と概要

農道整備

(中屋線)

計画路線が国土交通省所管の地すべり指定地内を通過するため、関係機関との協議を行った結果、軽量盛土工法(EPS)による工法変更を行い対策を行った。このため、事業費の増額となった。

(谷東線)

当初計画では、農業用排水路谷東線と一体で施工する予定で用地交渉を進めていたが、一部の地権者から境界に異議があると申し出があり、再三の地元地権者との用地交渉を行ったが、合意に至らなかった。このため、工事に取りかかることができなかった。(廃止)

(花園線)

地元地権者の営農意欲減退に伴い、受益地内の農地が太陽光発電施設に転用された。このため、受益地の確保が困難となり事業計画を止めた。(廃止)

(土釜線)

実施設計に伴い、事業量減となり工事費が減額となった。

ほ場整備

(井ノ久保)

地元関係者の営農意欲減退及び後継者不足に伴い、地元との協議により事業計画を廃止した。

(田野々)

当初計画地は、国土交通省所管の地すべり指定地内の施工のため、切り盛りや排水の計画が制限され、事業費の増額となった。また、地元関係者の営農意欲減退による担い手確保が困難となったため、ほ場面積が減となった。

(東谷)

地元関係者の営農意欲減退による担い手確保が困難となったため、ほ場面積が減となった。

2 主要工事計画の変更

農道整備(事業量変更)

(中屋線)	実施精査による事業量増	29 m
(谷東線)	廃止による事業量減	△220 m
(花園線)	廃止による事業量減	△600 m
(土釜線)	実施精査による事業量減	△37 m
計		△828 m

ほ場整備(事業量変更)

(井ノ久保)	廃止による事業量減	△2.7 ha
(田野々)	整備面積の減による事業量減	△1.1 ha
(東谷)	整備面積の減による事業量減	△2.9 ha
計		△6.7 ha

農道整備(工法変更)

(中屋線)	軽量盛土工法(EPS)による対策を行ったことによる事業費増
-------	-------------------------------

3 事業費の変更

農道整備(主要工事の変更に伴う、事業費の増減)

農道整備 事業費	265,000 千円 を 268,400 千円 に変更 (3,400 千円)
ほ場整備 事業費	222,000 千円 を 171,020 千円 に変更 (△50,980 千円)

第2章 計画変更の内容

1 受益面積(2路線の廃止による変更)

(中屋線)	2.6 ha	→	2.6 ha	0.0 ha		
(谷東線)	2.2 ha	→	0.0 ha	△2.2 ha		
(花園線)	4.7 ha	→	0.0 ha	△4.7 ha	変更前	変更後
(土釜線)	3.0 ha	→	3.0 ha	0.0 ha		
計	12.5 ha	→	5.6 ha	△6.9 ha	農道整備 計	12.5ha → 5.6ha

受益面積(廃止及び整備面積減による変更)

(井ノ久保)	2.7 ha	→	0.0 ha	△2.7 ha		
(田野々)	3.6 ha	→	2.5 ha	△1.1 ha		
(東谷)	5.9 ha	→	3.0 ha	△2.9 ha	変更前	変更後
計	12.2 ha	→	5.5 ha	△6.7 ha	ほ場整備 計	12.2ha → 5.5ha

2 主要工事計画の変更

工 種	路 線	事業量の変更		工法変更	事業量変更
		変更前	変更後		
農道整備	中屋線	320 m	349 m	工法変更に伴う測量試験費及び工事費の増	精査による増 事業廃止 事業廃止 精査による減
	谷東線	220 m	0 m		
	花園線	600 m	0 m		
	土釜線	530 m	493 m		
計		1,670 m	842 m		
ほ場整備	井ノ久保	2.7 ha	0.0 ha		事業廃止 担い手確保困難による整備面積減 担い手確保困難による整備面積減
	田野々	3.6 ha	2.5 ha		
	東谷	5.9 ha	3.0 ha		
計		12.2 ha	5.5 ha		

3 事業費

工 種	路 線	事業費の変更		備 考
		変更前	変更後	
農道整備	中屋線	62,000	108,400	
	谷東線	17,000	0	
	花園線	44,000	0	
	土釜線	142,000	160,000	
計		265,000	268,400	
ほ場整備	井ノ久保	39,000	0	
	田野々	87,000	105,200	
	東谷	96,000	65,820	
計		222,000	171,020	

4 工事予定期間

平成19年度～令和8年度

第3章 目 的

中山間地域農村活性化総合整備事業は、農業生産条件が不利な中山間地域の実情を踏まえ、農業を中心とした地域の活性化に意欲のある地域において、それぞれの地域の立地条件に即した農業生産基盤の整備を総合的に行い、農業と農村の活性化を図るとともに、定住化を促進し、国土・環境の保全に資することを目的としている。農業用排水路整備、農道整備、ほ場整備等の整備により、作物の生産性、品質の向上を図り、営農活動の合理化と農業経営の安定を図る。

第4章 地域の所在及び現況

第1節 地 域

事 業 名	地 域
中山間地域農村活性化総合整備事業(一般型)	徳島県三好市三野町 太刀野山 太刀野 芝生

第2節 地 積

事業名	現況地目	田	畑	樹園地	山林	その他	計	備考
	市町村名	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	
中山間地域農村活性化 総合整備事業(一般型)	三好市	(122.9) 122.9	(24.0) 15.4	(6.0) 1.3			(152.9) 139.6	
	計	(122.9) 122.9	(24.0) 15.4	(6.0) 1.3	(0.0) 0.0	(0.0) 0.0	(152.9) 139.6	
合 計		(122.9) 122.9	(24.0) 15.4	(6.0) 1.3	(0.0) 0.0	(0.0) 0.0	(152.9) 139.6	

(括弧書きは変更前面積)

第3節 気象及び海象

1 一般気象

観測所名	池田観測所	かんがい期	非かんがい期	計又は平均	備考
観測期間	平成13年度	5月～9月	10月～4月		
平均気温(℃)		22.2	8.1	14.0	H.13統計年報(池田)
降水量	平均 (mm)	864.0	591.0	1,455.0	H.13統計年報(池田)
	基準年 (mm)	724.0	686.0	1,410.0	H.13統計年報(池田)
降水日数	平均 (日)				
	基準年 (日)				
根雪期間					
無霜期間					
最多風向	南南東	最大風速		m/s	発生時期 発生年月日 H5.9.4

2 特殊気象

観測所名	第 1 位			第 2 位			第 3 位			第 4 位			第 5 位			備考
池田観測所																
観測期間	数 量	年月日	発生確率	数 量	年月日	発生確率	数 量	年月日	発生確率	数 量	年月日	発生確率	数 量	年月日	発生確率	
昭和1年～平成13年																
最大日雨量 (mm)	253.0	S49.9.8	88.9	214.0	S58.9.28	30.4	200.0	S29.6.29	20.7	192.0	H2.9.19	16.7	186.0	S54.9.30	14.2	
最大時間雨量 (mm)	64.0	S58.9.28	53.4	48.0	S63.6.25	10.1	46.0	S54.9.30	8.3	46.0	H7.7.3	8.3	45.0	H15.9.4	7.5	
最大連続雨量 (mm)	518.0	S20.10.2	48.9	508.0	S40.9.13	45.3	506.0	S51.9.8	44.6	441.0	H2.9.14	26.6	411.0	S26.7.7	20.7	
最大連続干天雨量 (mm)	53.0	S4.1.5	158.6	51.0	S60.12.19	115.9	44.0	S33.11.9	38.7	44.0	S61.1.5	38.7	43.0	S35.1.17	33.1	
最大4時間雨量 (mm)																
最大連続雨量 (mm)																
最大連続干天日数 (日)																

第4節 土地状況

1 地形、土壌及び浸食の程度

工種名	地目	田						畑 ・ そ の 他								受益地標高		備 考
	傾斜	1/1000 ～	1/1000 ～	1/100 ～	1/20 ～	1/11.5 以上	計	3° ～	3° ～	8° ～15°			15° ～	20° ～	計	最高 m	最低 m	
	区分	区分	1/100	1/20	1/11.5	以上		以下	8°	8° ～10°	10° ～15°	8° ～15°	20°	以上				
農業用用水 施設整備	面積 (ha)				120		120.0		4.7					2.0	6.7	975	63	
	比率 (%)				100		100	0	70					30	100			
農業用排水 施設整備	面積 (ha)				2.9		2.9									68	65	
	比率 (%)				100		100											
農道整備	面積 (ha)								5.6						5.6	510	405	
	比率 (%)								100						100			
ほ場整備	面積 (ha)											1.4 (2.5)	3.0 (3.0)		4.4 (5.5)	550	400	農業用用水施設と 1.1ha(畑)重複
	比率 (%)											32	68		100			
農地防災	面積 (ha)				(17.6)		- (17.6)											農業用用水施設と 17.6ha重複
	比率 (%)																	
合計	面積 (ha)				122.9 (140.5)		122.9 (140.5)		10.3 (10.3)			1.4 (2.5)	3.0 (3.0)	2.0 (2.0)	16.7 (17.8)			
	比率 (%)				100		100		62			8	18	12	100			

()内数値は重複面積を含む実数値

2 土地分類

項目 土 壤 統 (区) 名	土 壤 統 (区) 区 分 一 覧 表										事業名	備考
	土 壤 断 面								推積様式	母材		
	色	腐植	礫層	酸化 沈澱物	土 性			泥炭層 黒泥層 及び グライ層				
					表土	下層土						
					一層	二層	三層					
灰褐色土壌粘土構造 マンガン型	YR(灰褐)	無	無	含む～ 富む	L～SiL	CL	CL～LiC	無	水積	非固結 水成岩	139.6	
灰色土壌粘土 マンガン型	Y(灰)	無	無	含む～ 富む	CL	CL	CL～LiC	無	水積	非固結 水成岩		

第5節 水利状況

1 用水状況

(1) 用水施設

(ア) 改修を要する施設一覧表

工種名		箇所数 (箇所)	受益面積 (ha)	構 造	規 模	新設又は 更新年月日	改修を必要とする 理由	備 考
農業用用水 施設整備	用水路	2	103.5	開水路	B=0.3~0.6m	不詳	老朽化	河内谷線、田野々線
	管水路	2	21.2	管水路	φ13~150	不詳	水量不足	東川原線、太刀野線
	揚水機	5	2.0	渦巻ポンプ	φ32	不詳	水量不足	大平線
	計	9	126.7					
ほ場整備	水槽・取水工	1	3.0	水槽、集水管	60m3	不詳	水量不足	東谷
	用水路	(1)	(3.0)	開水路	B=0.3m	不詳	水量不足	東谷
	計	1	3.0					
合 計		10	129.7					

2 排水状況

(2) 排水施設

(ア) 排水方法一覧表

工種名	項 目 施設名	排 水 面 積						計		排水慣行	現況排水能力 (m3/s)	備 考
		500ha以上		499～100ha		99ha以下						
	箇所	ha	箇所	ha	箇所	ha	箇所	ha				
農業用排水 施設整備	排水路					1	2.9	1	2.9		—	谷東線
	計					1	2.9	1	2.9			
ほ場整備	排水路					2	5.5	2	5.5		—	田野々、東谷
	計					2	5.5	2	5.5			
合 計						3	8.4	3	8.4			

(イ) 改修を要する施設の一覧表

工種名	項 目 施設名	箇所数	構造	規模	新設又は 更新年月日	改修を必要とする 理由	備 考
農業用排水 施設整備	自然 排水路	1	コンクリート水路	0.30×0.30m	H24~H26	断面不足	谷東線
	計	1					
ほ場整備	自然 排水路	2	土水路	—	H23~R元	未整備	田野々、東谷
	計	2					
合 計		3					

第6節 道路現況

1 道路概況

本地区には、農道がなく農作業に多大な労力がかかっている。そのため農道を整備して農作業機械の通行を可能にすることにより、農作物の搬出及び生産資材の搬入時間を短縮し、農作物の品質向上及び、走行経費の節減を図り、農家経営の安定、生産意欲のさらなる強化を目指す。

2 主要道路一覧表

No.	路線名	管理区分別	延長(m)	幅員(m)		構 造	改修の要否	備 考
				全幅	有効			
1	中屋線	三好市	349	3.0	2.0	アスファルト	要	
2	谷東線	三好市	220	3.0	2.0	アスファルト	否	
3	花園線	三好市	600	3.0	2.0	アスファルト	否	
4	土釜線	三好市	493	3.0	2.0	アスファルト	要	

第7節 地域農業の概況

1 産業別就業人口

令和2年国勢調査より

市町村名	項目 数 (人)	総 数 (人)	農 業 (人)	林 業 (人)	漁 業 (人)	鉱 業 (人)	建設 業 (人)	製造 業 (人)	電気 ガス 熱 供給 水道 業 (人)	運輸 通信 業 (人)	卸売 小売 業 飲食 店 (人)	金融 保険 業 (人)	不動 産業 (人)	サー ビス 業 (人)	公 務 (人)	そ の 他 (人)	備 考
三好市		10,523	475	146	1	11	1089	1510	90	451	1803	125	59	1389	572	2802	
計		10,523	475	146	1	11	1,089	1,510	90	451	1,803	125	59	1,389	572	2802	
比率 (%)		100	4.5%	1.4%	0.0%	0.1%	10.3%	14.3%	0.9%	4.3%	17.1%	1.2%	0.6%	13.2%	5.4%	26.6%	

国勢調査 都道府県・市区町村別の主な結果

2 経営耕地広狭別農家数及び耕地の分散状況並びに専兼業別農家数

2020年農林業センサスより

市町村名	農家 総戸 数 (戸)	経営耕地広狭別農家数(戸)												1戸当平均農用地面積 (ha)					耕地の 分散状況			専兼業別農家数(戸)		
		例外規定の適用を受けるもの	0.3 ha 未満	0.3 ～ 0.5	0.5 ～ 1.0	1.0 ～ 1.5	1.5 ～ 2.0	2.0 ～ 3.0	3.0 ～ 5.0	5.0 ～ 10.0	10.0 ～ 20.0	20.0 ha 以上	自給的農家	田	畑	樹園地	小計	草地	計	1戸当団地数	団地当面積(ha)	専業	兼業	
																							第1種	第2種
三好市	1,628	11	21	136	145	31	10	10	7	1	0	0	1,278	0.59	0.39	0.30	1.28		1.28	—	—	—	—	—
計	1,628	11	21	136	145	31	10	10	7	1	0	0	1,278	0.59	0.39	0.30	1.28		1.28	—	—	—	—	—
比率(%)	100%	0.7%	1.3%	8.4%	8.9%	1.9%	0.6%	0.6%	0.4%	0.1%	0.0%	0.0%	78.5%	46.1%	30.5%	23.4%	100.0%		100.0%					

3 動力農機具及び主要家畜頭数

項 目 市町村名	動 力 農 機 具								主 要 家 畜								備 考		
	耕うん機 トラクター		動力防除機		動力田植機		自 脱 型 コンバイン		乳 用 牛		肉 用 牛		豚		採卵鶏			ブロイラー	
	数量 (台)	戸数 (戸)	数量 (台)	戸数 (戸)	数量 (台)	戸数 (戸)	数量 (台)	戸数 (戸)	数量 (頭)	戸数 (戸)	数量 (頭)	戸数 (戸)	数量 (頭)	戸数 (戸)	数量 (頭)	戸数 (戸)		数量 (頭)	戸数 (戸)
	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	x	5	x	1	x	2	13847	11	2020年 農林業センサス
100戸当数量 (台、頭)	—		—		—		—		—		—		—		—		125,882		
利用戸数割合 (%)	—		—		—		—		—		—		—		—		3.0%		

「x」:個人又は法人その他の団体に関する秘密を保護するため、統計数値を公表しないもの。

4 主要作物作付状況

市 町 村 名	三好市		徳島県				計	平 均	作付率 (%)	備 考
総耕地面積(ha)	1390						1390			
区 分	作付面積 (ha)	単位面積 当収量 (kg/10a)	作付面積 (ha)	単位面積 当収量 (kg/10a)	作付面積 (ha)	単位面積 当収量 (kg/10a)	作付面積 (ha)	単位面積 当収量 (kg/10a)		
作 物 名										
水 稻	136	478					136	478	9.8%	農林水産 統計年報 (R3～R4)
な す			91	6,840			91.0	6,840		
スイートコーン			207	917			207.0	917		
きゅうり			63	11,000			63.0	11,000		
さやいんげん			48	550			48.0	550		
だいこん			345	6,750			345.0	6,750		
はくさい			79	4,250			79.0	4,250		
その他	1254	—					1254	—	90.2%	
計	1390						1390		100.0%	
市 町 村 別 延作付率 (%)	100.0%						100.0%			

5 農業の動向

農業の動向																	
項目 区分	農 家			土 地			主 要 作 物			大 家 畜			動 力 農 機 具			地域 指定等	備考
		B	A (現在)		B	A (現在)	作物名	B	A (現在)	家畜名	B	A (現在)	農機具名	B	A (現在)		
変化の状況 (C年を100とする指数)	総 農 家 数	83	63	耕地	77	60	水稻	84	75	乳用牛	—	—	耕うん機及びトラクター	81	—	特定農山村 過疎 振興山村	A:2020 センサス
	専 業 農 家 数	118	0	田	87	73	そば	133	63	肉用牛	—	—	動力防除機	—	—		B:2015 センサス
	第 1 種 兼 業 農 家 数	24	0	畑	75	61	ばれいしょ	70	35	豚	—	—	動力田植機	74	—		C:2010 センサス
	第 2 種 兼 業 農 家 数	68	0	樹園地	64	36	—	—	—	採卵鶏	—	—	コンバイン	82	—		
	農 業 従 事 者 数	69	32	草地	—	—	—	—	—	ブロイラー	70	71	バインダー	—	—		
変化の理由	農業従事者の高齢化や、後継者不足により農業法人化が進んでいる。			農業従事者の高齢化や、後継者不足、農業法人化により減少している。			宅地化の進展や農業従事者の減少に伴い、減少傾向となっている。			飼育者の高齢化や、後継者不足、農業法人化により減少している。			農業法人化により農家戸数が減少したため農業用機械の保有台数も全体的に減少している。				

第8節 地域環境の概説

三好市三野町は徳島県の北西部に位置し、東は美馬市美馬町(旧美馬町)、西は三好郡東みよし町(旧三好町)、北は香川県、南は三好郡東みよし町(旧三加茂町)にそれぞれ接している。年平均気温14℃、年平均降水量1,270mmの穏やかな気候に恵まれている。地形は山地が86%、台地・段丘が5%、低地が9%であり、殆ど山地が占めている。地質は吉野川沿いに未固結堆積物が堆積し、北部の山地は左岸及び泥岩の固結堆積物が広がる。景観としては、北部の急峻な阿讃山地から山麓の台地を経て吉野川沿いの平地まで変化に富んでいる。山間部の棚田や樹園地では耕作放棄地が増加している。

第5章 基本計画

1 計画の必要性

中山間地域農村活性化総合整備事業は、農業生産条件が不利な中山間地域の実情を踏まえ、農業を中心とした地域の活性化に意欲のある地域において、それぞれの地域の立地条件に即した農業生産基盤の整備を総合的に行い、農業と農村の活性化を図るとともに、定住化を促進し、国土・環境の保全に資することを目的としている。農業生産基盤整備において、(1)農業用排水施設の整備により農産物の安定した収穫を図り、農地の高度利用を促進し、安定した農業経営を目指す。(2)農道の整備により、農作物の搬出及び生産資材の搬入時間を短縮し、農業生産の向上、農業の近代化、農業経営の合理化を目指す。(3)ほ場整備により、農業機械による軽作業化、農地の集団化、効率化により、農用地の高度利用を図り、生産性の向上を推進する。(4)農地防災としてため池の整備により貯水機能の回復、水管理の改善を行うとともに、安全性・快適性の向上を図る。このように生産基盤の整備によって、高品質で多様な作物を供給することで、基幹農業の中核を形成することから、本計画は必要であると認められる。

2 主要工事計画

農業用排水路	L=	7933 m
農道整備	L=	842 m
ほ場整備	A=	5.5 ha
農地防災	L=	1 箇所

第6章 工事又は管理の要領

1 維持管理すべき施設

農業用排水路、農道、ほ場整備、農地防災(ため池)

2 維持管理者

三好市(管理に要する費用は、三好市又は土地改良区及び地元組合とする)

第7章 換地計画の要領

第1節 換地計画を作成する上での基本的な考え方

換地計画を決定するにあたっては、農用地の集団化及び利用権設定等を考慮しながら個人別換地選定を行う。

第2節 換地区の設定

1 換地区の名称、所在、面積

換地区名	換地区の所在	面積(ha)
田野々	三好市三野町太刀野山字林・上佐古	3.0
東谷	三好市三野町太刀野山字鎌窪・上窪	3.7

2 換地区を設定する理由

農地分散状況等をみて効率的な集団化が図られるように換地区を設定する。

第3節 換地計画樹立の基本方針

1 従前の土地の地積の基準

換地区名	地 積 の 基 準
田野々 東谷	換地交付の基準とする従前の土地の地積は、土地改良事業計画決定の日の登記簿地積とする。 ただし、上記の日から1ヶ月以内に測量士、測量士補又は土地家屋調査士の測量した測量図及び隣接所有者の同意を添付して申し出があった場合には、その申し出のあった地積とする。

2 用途別予定地積

(単位:ha)

用 途 (取得予定者)		非農用地区域外に換地する土地												非農用地区域に換地する土地										機能交換に係る土地				一般 国 公 有 地	総 合 計
		田	畑	山林・ 原野	その他	通常事業施工地域に含める土地(令第1条の9 (書き))			計	本事業によつて生ずる土地改良施設用地			創 設 農用地	合 計	特定用途用地			異種 目換地	創設非農用地			合 計	国	県	市 町 村 他	合 計			
						土地 改良 施設	その他	小計		改良 区	その他	計			宅 地	その他	計		農業経営 合理化 施設用地	生活上 経営上 必要な 施設用地	公用・公共 用施設用地								
換地区名	前後																												
田野々	従前の土地		2.8						2.8					2.8											0.2	0.2		3.0	
	換地		2.5						2.5					2.5											0.5	0.5		3.0	
東谷	従前の土地		3.5						3.5					3.5											0.2	0.2		3.7	
	換地		3.0						3.0					3.0											0.7	0.7		3.7	
合計	従前の土地		6.3						6.3					6.3											0.4	0.4		6.7	
	換地		5.5						5.5					5.5											1.2	1.2		6.7	

3 農用地集団化の方針

区分 耕地区名	地帯別、グループ別団地の設定	個人別換地の方法		
		位置の選択方法	1戸当たり目標団地数	区画畦畔の取り扱い
田野々 東谷	団地の設定計画は無い。	各人の従前の土地の密集した位置に換地(母地集団化方式)	1戸当たりの団地数はおおむね2団地を目標	固定畦畔

4 非農用地の換地方法

区分 耕地区名	用途	非農用地区域の位置の概要	面積(m ²)	換地の手法	換地取得予定者	その他

第4節 土地の評価及び清算の方法

1 評価の方法

土地の生産力及び収益力、すなわち、用途、地積、土性、水利、傾斜、温度その他の自然条件及び利用条件等を調査項目とし、それらの条件が収益性に作用する力の比重によって100点を配分して、その項目内における条件の程度を点数に置き換え項目ごとに採点をし、その合計点数からその土地の等位を定め、その等位から価格を評定する。

2 清算の方法

増価額清算

第5節 換地計画樹立の年度計画

区分 換地区名	一時利用地の 指定予定年度	換地計画の 決定予定年度	換地処分 予定年度
田野々	—	令和2年	令和2年
東谷	—	平成28年	平成28年

第6節 換地処分の時期に関する特則

特に定め無し。

第8章 費用の概算

1 この土地改良事業に要する概算総事業費

(単位:千円)

工 種	路 線	事 業 費	備 考
農業用排水路	6路線	377,334	
農道整備	2路線	268,400	
ほ場整備	2団地	171,020	
農地防災	1箇所	32,320	
計		849,074	

2 概算総事業費の負担区分

	国費	県費	町費	地元	計	備 考
農業用排水路	55%	30%	10%	5%	100%	
農道整備	55%	30%	15%		100%	
ほ場整備	55%	30%	10%	5%	100%	
農地防災	55%	30%	15%		100%	
工事雑費・事務費		100%			100%	平成22年度以降

3 事業費の細目

農業用排水路

受益面積 129.6 ha

(単位:千円)

種 目	事業量	事 業 費	10a当たり事業費	備 考
1.純工事費				
農業用排水路	7,933m	312,433		
2.測量及び試験費		54,985		
3.用地費及び補償費		2,551		
4.工事雑費		7,365		
5.地方事務費		18,867		
計		396,201	306	

農道整備

受益面積 5.6 ha

(単位:千円)

種 目	事業量	事 業 費	10a当たり事業費	備 考
1.純工事費				
農道整備	842m	227,935		
2.測量及び試験費		33,595		
3.用地費及び補償費		1,823		
4.工事雑費		5,047		
5.地方事務費		13,420		
計		281,820	5,033	

ほ場整備

受益面積 5.5 ha

(単位:千円)

種 目	事業量	事業費	10a当たり事業費	備 考
1.純工事費				
農道整備	5.5 ha	130,094		
2.測量及び試験費		35,497		
3.用地費及び補償費		1,723		
4.工事雑費		3,706		
5.地方事務費		8,551		
計		179,571	3,265	

農地防災

受益面積 17.6 ha

(単位:千円)

種 目	事業量	事業費	10a当たり事業費	備 考
1.純工事費				
農道整備	1箇所	25,129		
2.測量及び試験費		7,191		
3.用地費及び補償費				
4.工事雑費				
5.地方事務費		1,616		
計		33,936	193	

第9章 効用

(単位:千円)

区分	項目	総 便 益 額	総費用(現在価値化)	備 考
農業用排水路	6路線	4,330,590	1,408,781	
農道整備	2路線	784,932	632,563	
ほ場整備	2団地	352,203	307,394	
農地防災	1箇所	321,221	103,760	
計		5,788,946	2,452,498	総費用総便益比 2.36

(括弧書きは計画変更前のもの)

第10章 他の事業との関係

事業名	工 期	受益面積(ha)	総事業費(千円)	本事業との関連性	備 考
国営かんがい排水事業(吉野川北岸地区)	S46 ~ H1	6,782	61,349,389	農業用排水施設整備	
広域農道整備(阿讃西部地区)	S54 ~ R6	1,776	13,982,811	農道整備農業集落道整備	
山振特別対策事業(東谷地区)	H9 ~ H11		304,000	交流施設基盤整備	
森林空間総合整備事業(東谷地区)	H8 ~ H9	1.8		交流施設基盤整備	

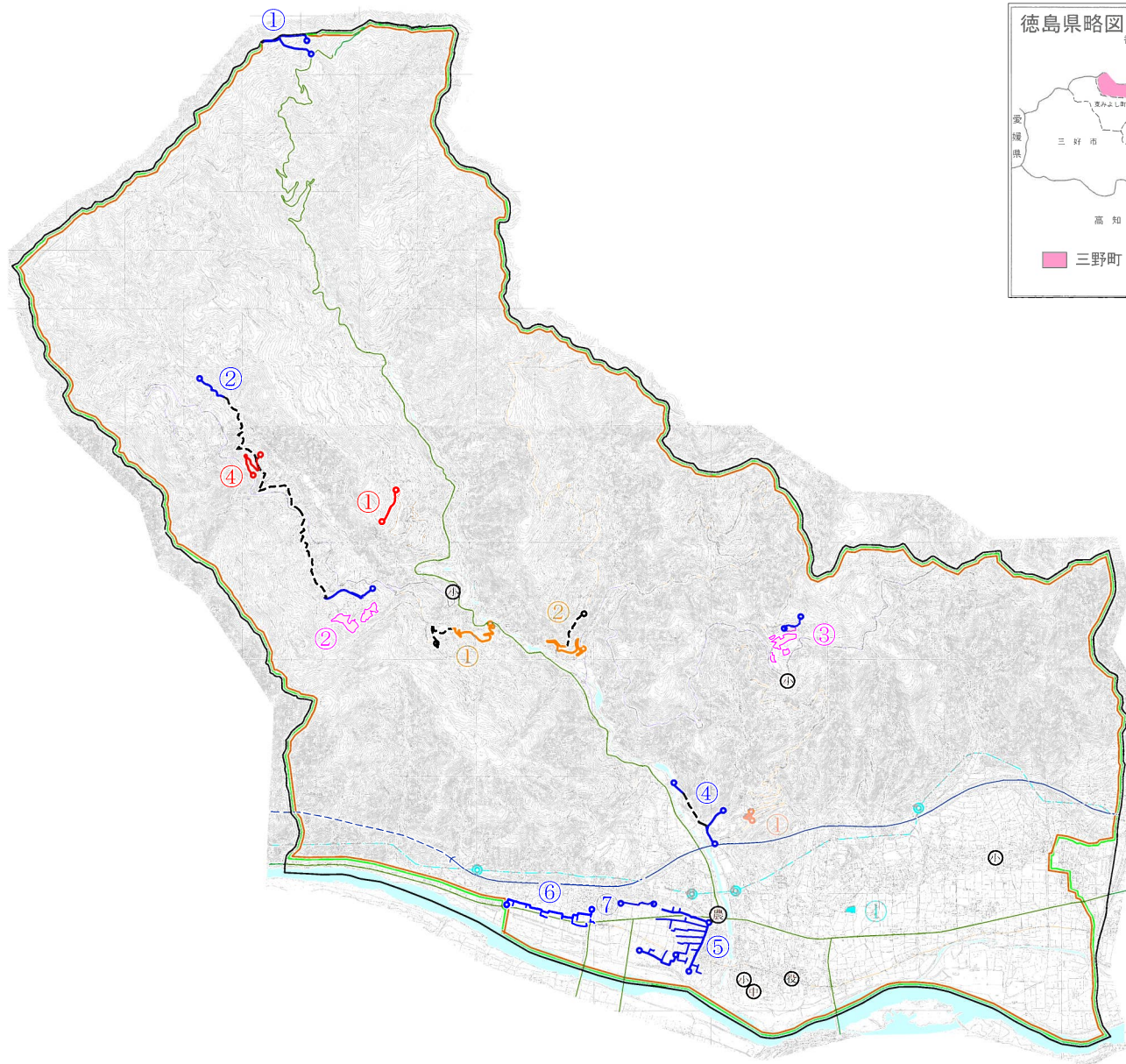
第11章 計画概要図

別添のとおり

中山間地域農村活性化総合整備事業 三野西部地区（変更後）



Sc=1 : 20,000



1.農業生産基盤	
(1) 農業用排水路	
① 大平線	1.543m
② 田野々線	8.33m
③ 河内谷線	4.82m
④ 東川原線	3.546m
⑤ 太刀野線	12.53m
⑥ 谷東線	2.74m
(2) 農道	
① 中風線	349m
② 土釜線	493m
(3) 排水	
① 田野々	2.5ha
② 東谷	3.0ha
(4) 農地改良	
① 内田池	1.10ha(1ヶ所)
2.農村生活環境	
(1) 農業集落道	
① 川又線	877m
② 藤田線	877m
3.交流基盤	
(1) 施設開設道路	
① 風呂谷線	328m

農業用排水施設

番 号

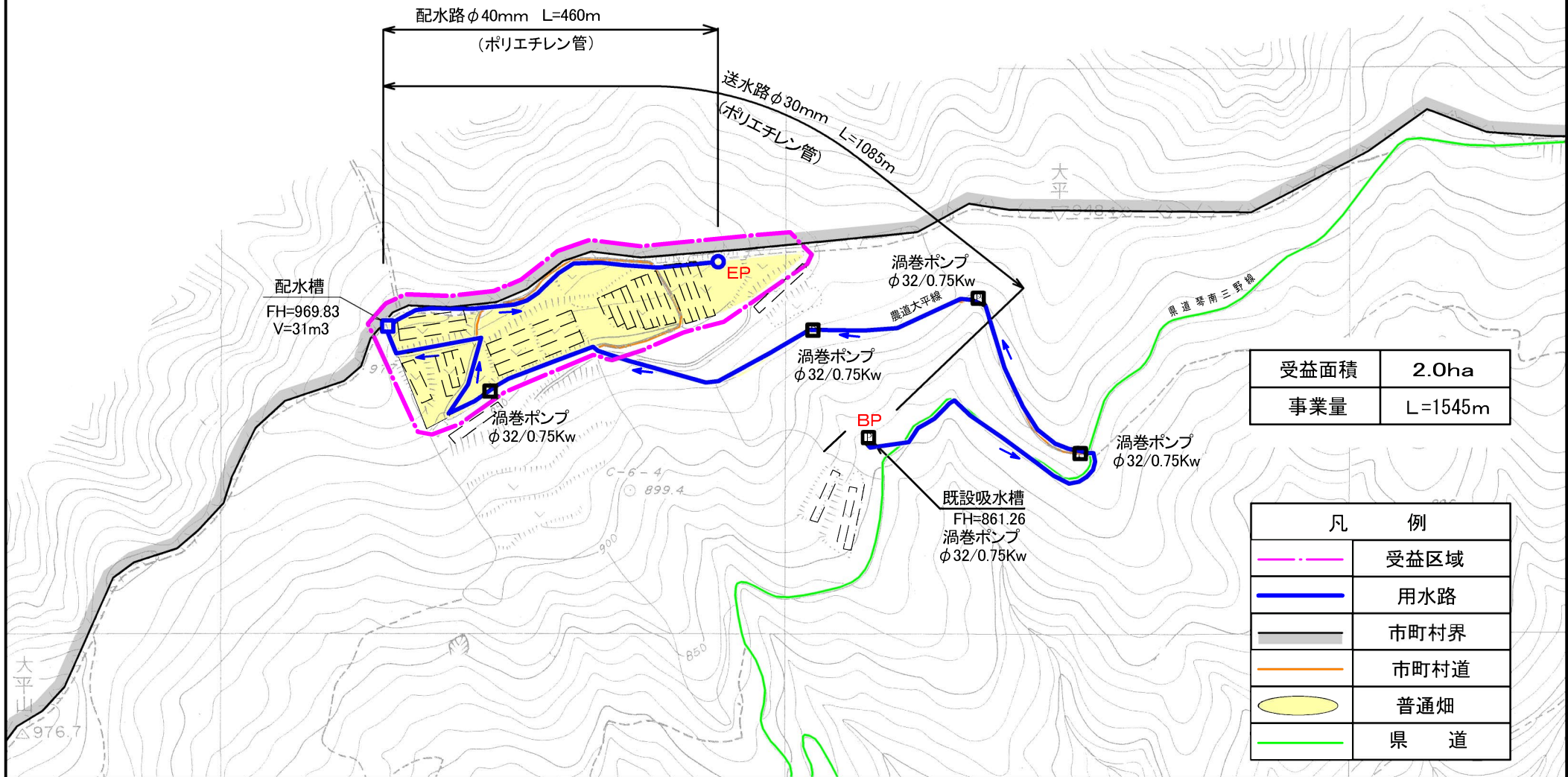
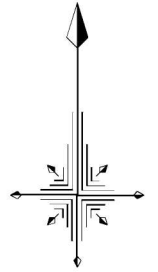
1-①-1

路線名

オオヒラセ
大 平 線

計画平面図

S=1:5000



農業用排水施設

番 号

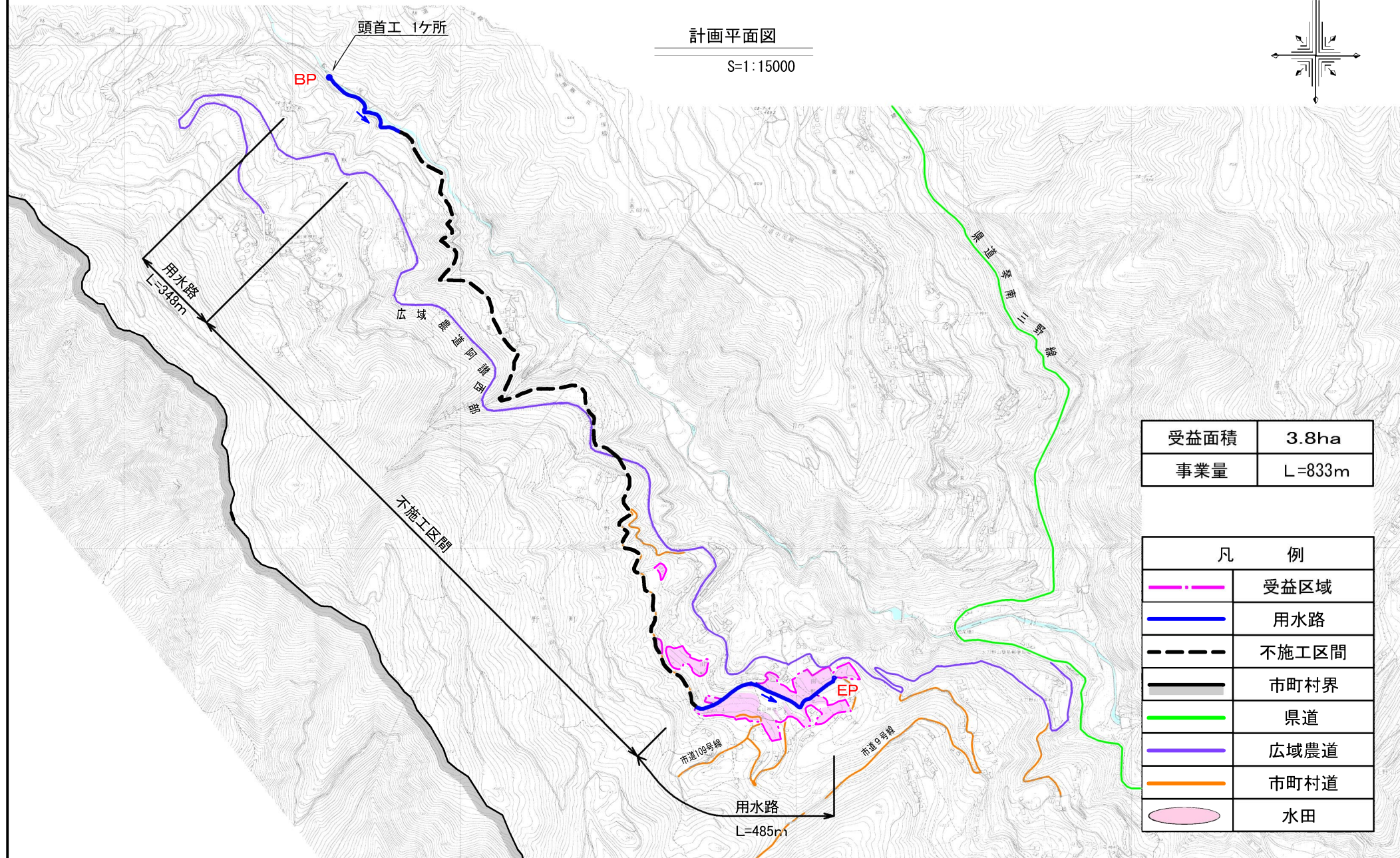
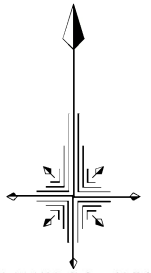
1-①-2

路線名

タノセン
田野々線

計画平面図

S=1:15000



農業用排水施設

番 号

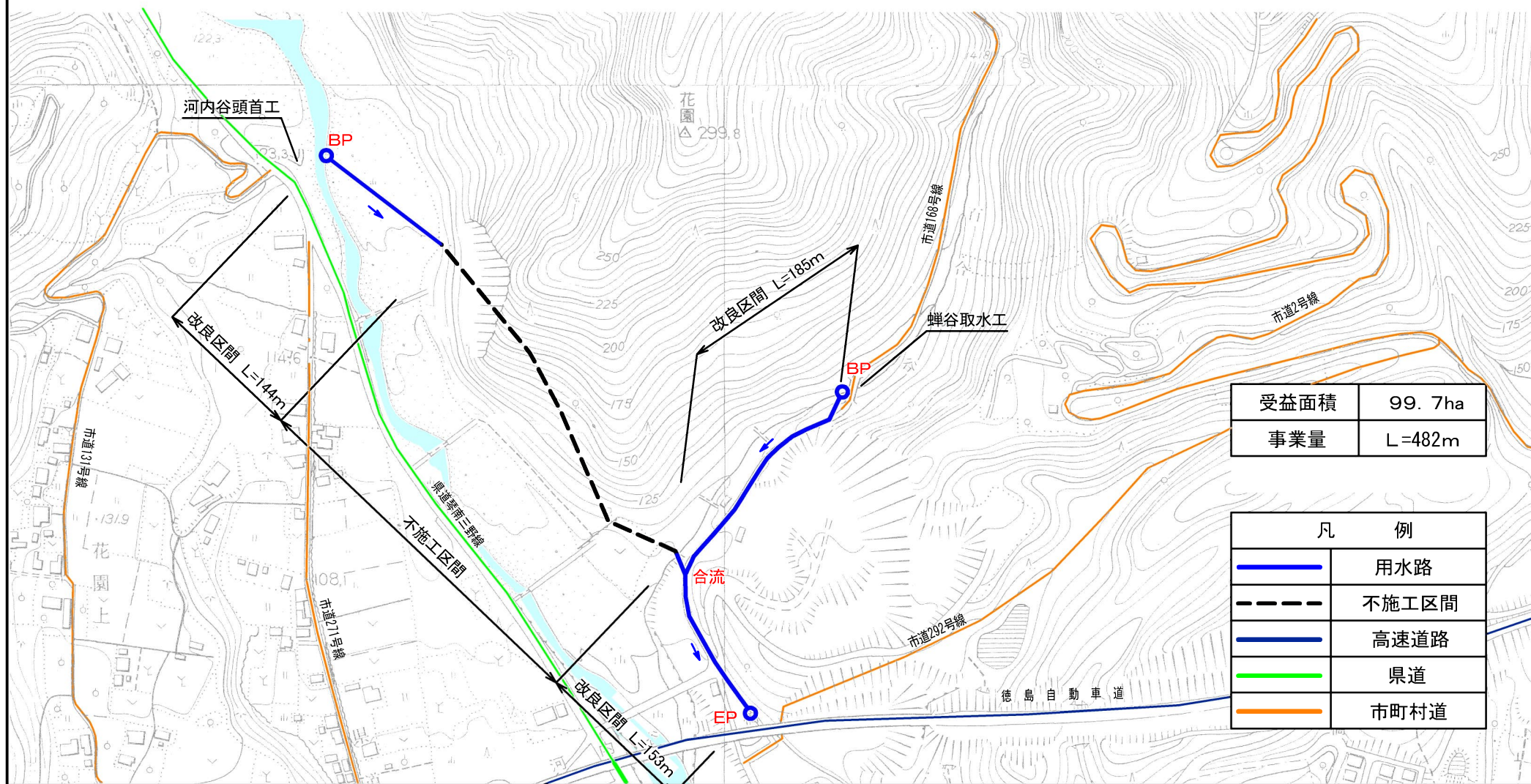
1－①－4

路線名

コウチダニセ
河 内 谷 線

計画平面図

S=1:5000



農業用排水施設

番 号

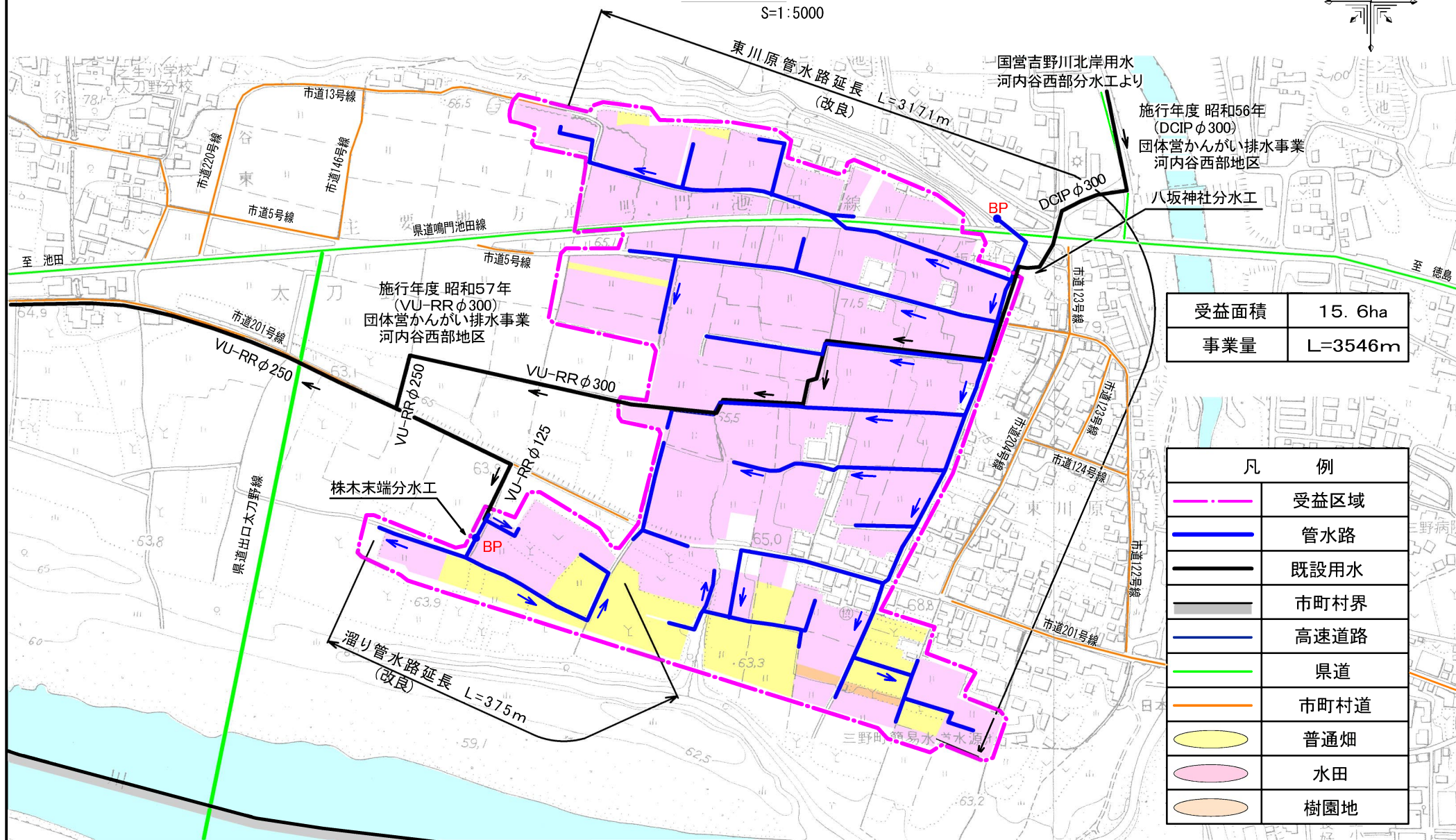
1-①-5

路線名

ヒガシカワハラセ
東川原線

計画平面図

S=1:5000



受益面積	15.6ha
事業量	L=3546m

凡 例	
---	受益区域
—	管水路
—	既設用水
—	市町村界
—	高速道路
—	県道
—	市町村道
	普通畑
	水田
	樹園地

農業用排水施設

番 号

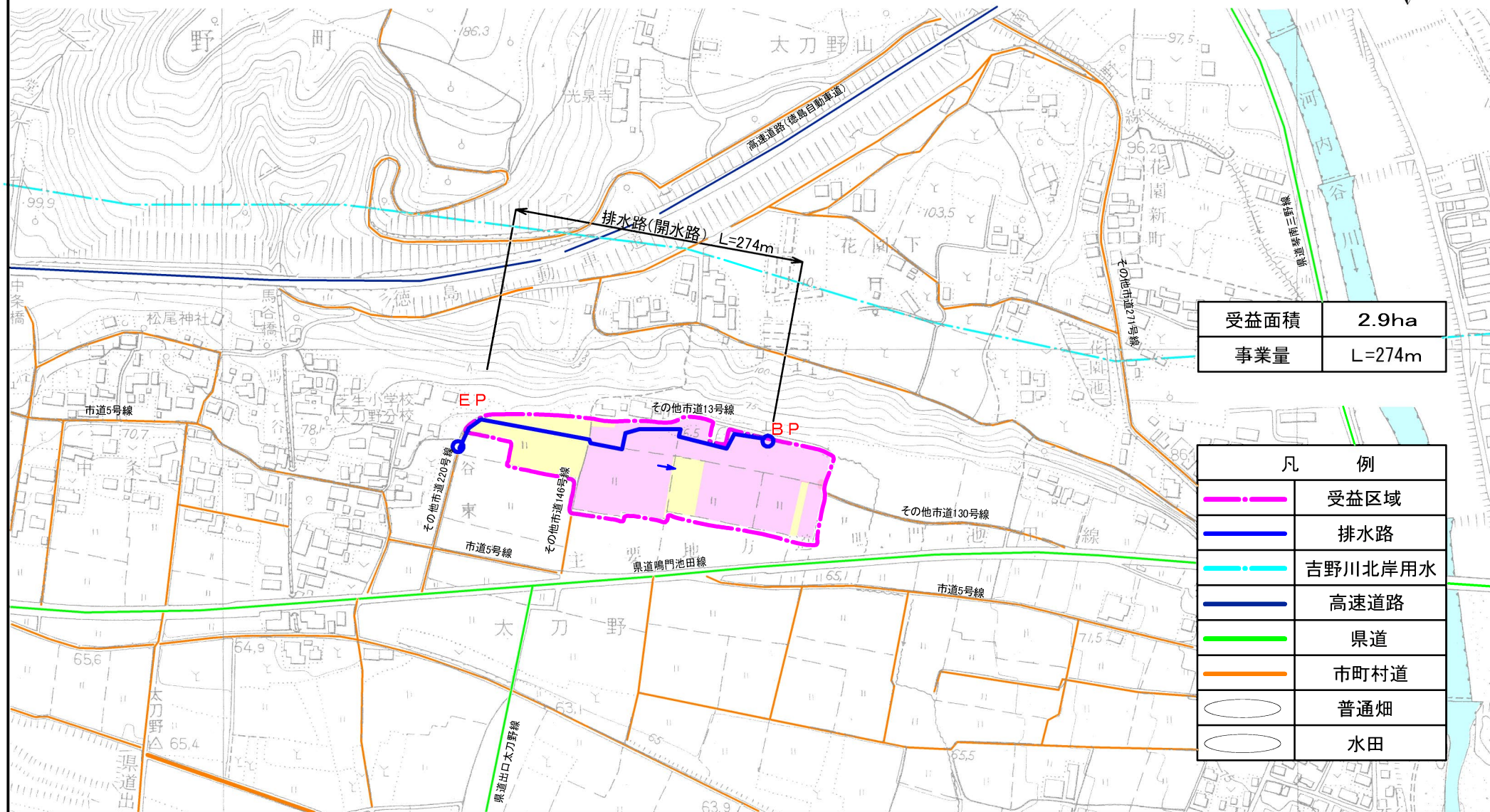
1-①-7

路線名

タニヒガシセン
谷 東 線

計画平面図

S=1:5000



受益面積	2.9ha
事業量	L=274m

凡 例	
	受益区域
	排水路
	吉野川北岸用水
	高速道路
	県道
	市町村道
	普通畑
	水田

農道整備事業

番 号

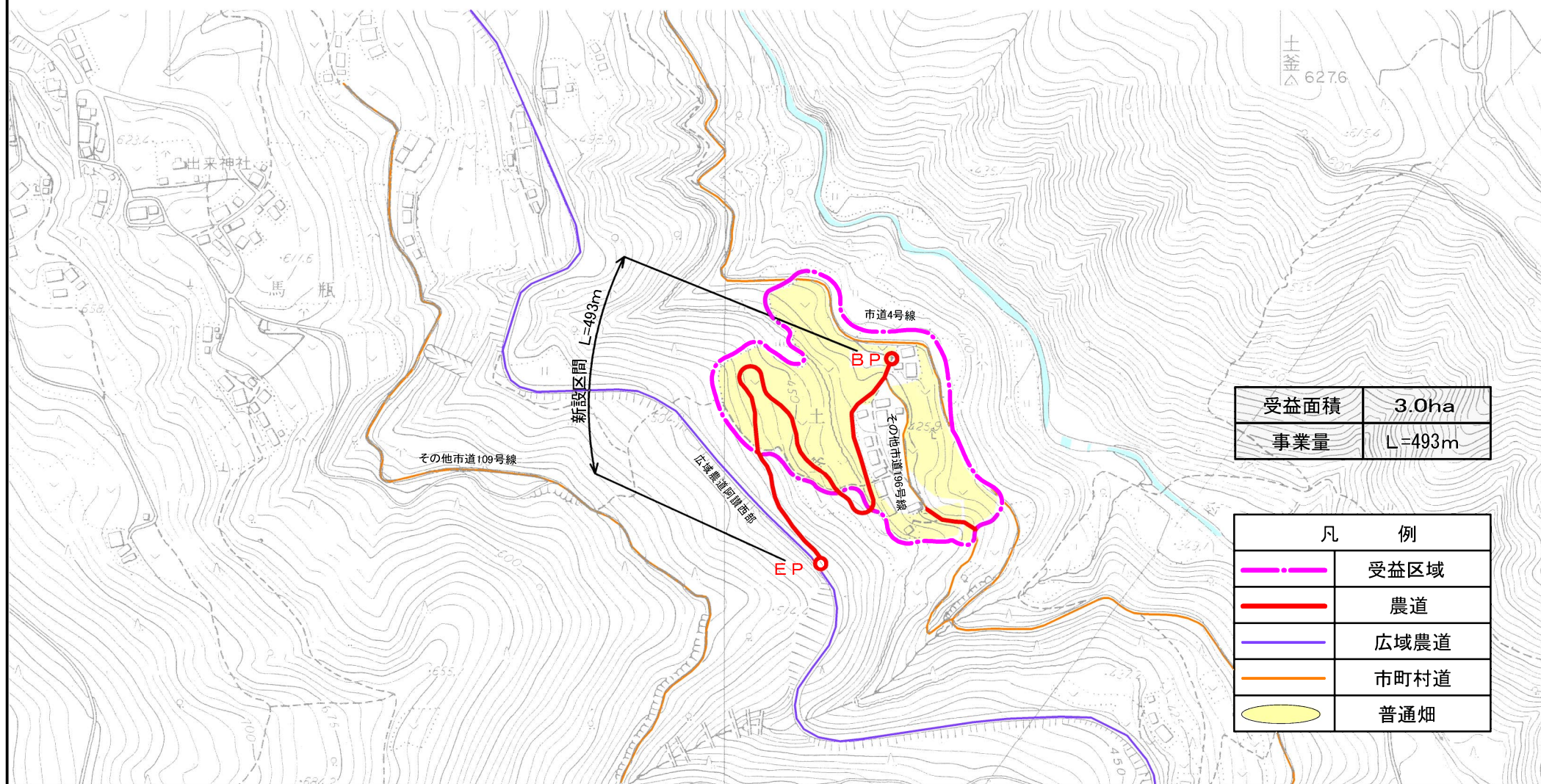
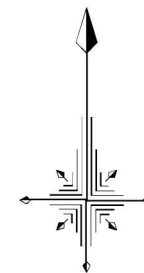
1-②-4

路 線 名

ドガマセン
土 釜 線

計画平面図

S=1:5000



受益面積	3.0ha
事業量	L=493m

凡 例	
	受益区域
	農道
	広域農道
	市町村道
	普通畑

ほ場整備事業

番 号

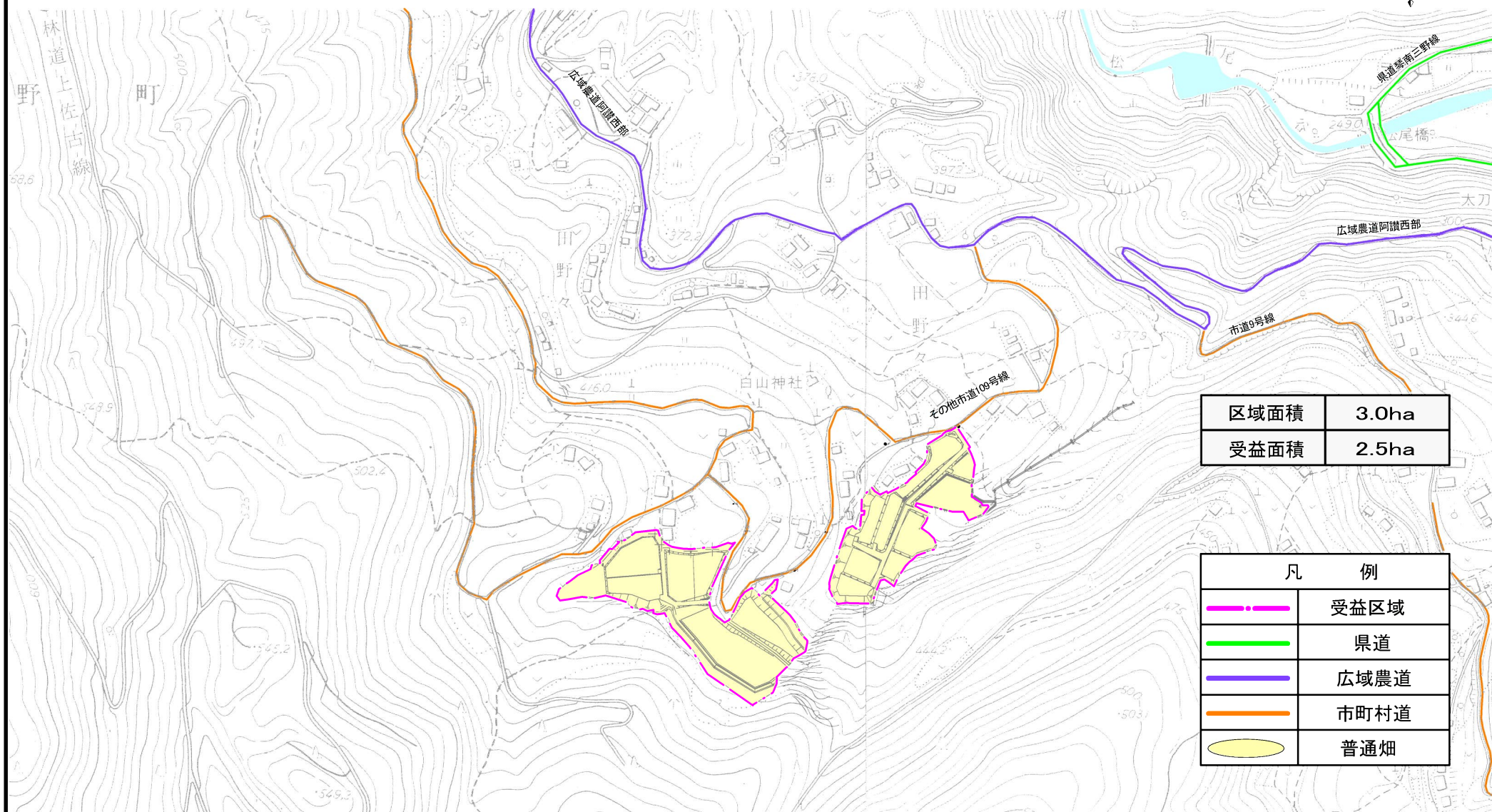
1-③-2

路線名

た の の
田 野 々

計画平面図

S=1:5000



ほ場整備事業

番 号

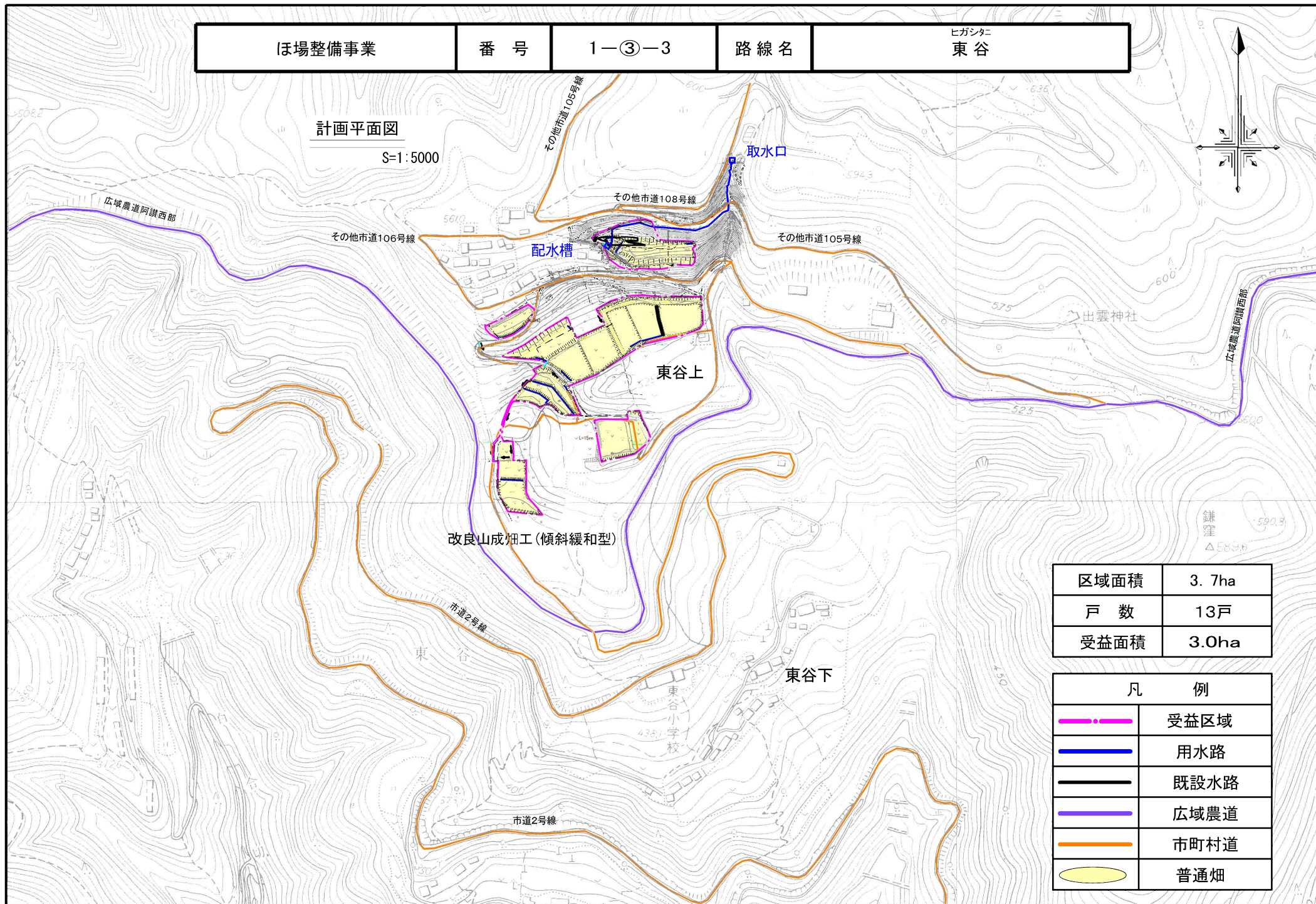
1—③—3

路 線 名

ヒガシタニ
東 谷

計画平面図

S=1:5000



区域面積	3.7ha
戸 数	13戸
受益面積	3.0ha

凡 例	
---	受益区域
---	用水路
---	既設水路
---	広域農道
---	市町村道
	普通畑

計画平面図

S=1:2500

改良山成畑工(傾斜緩和型)

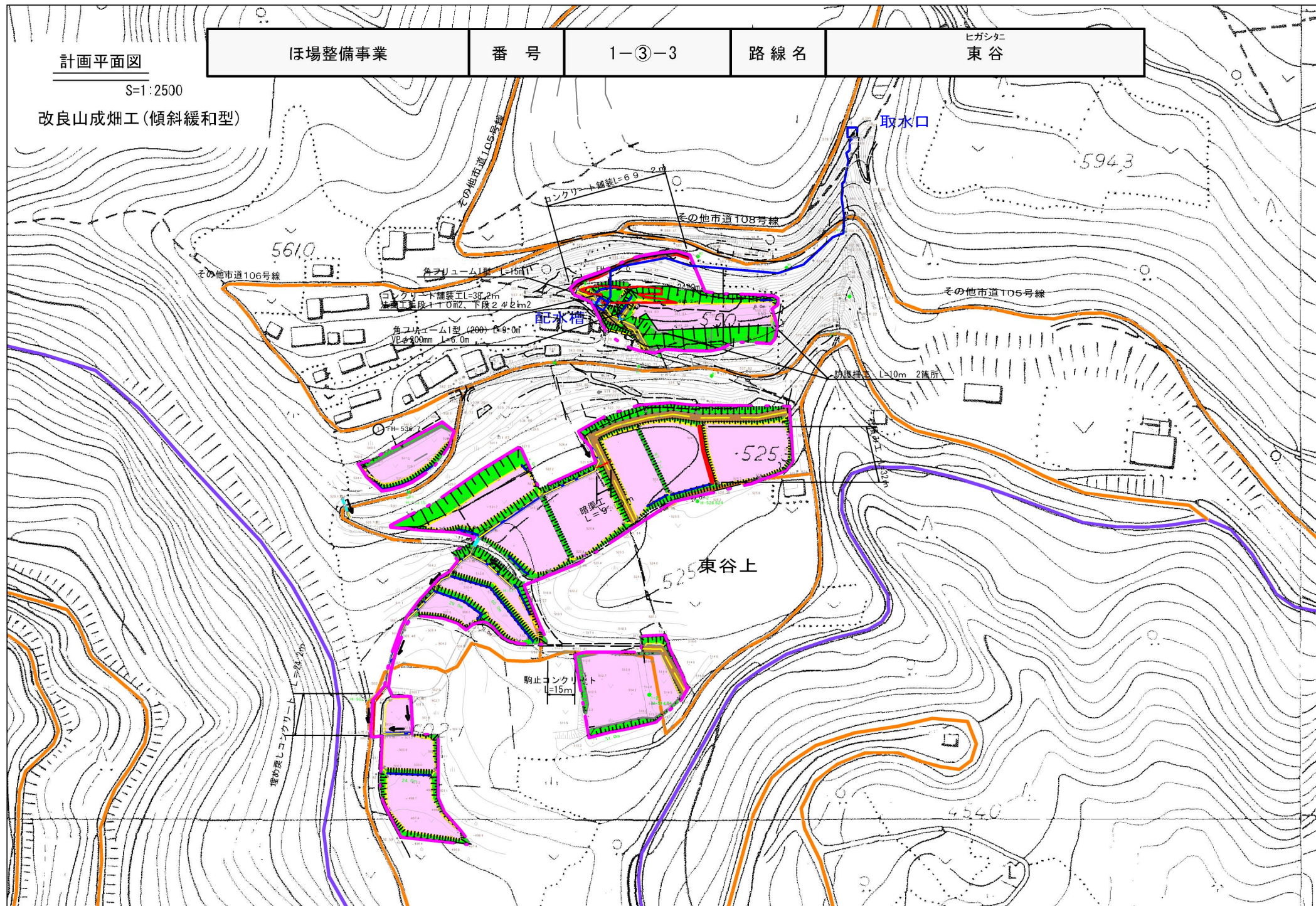
ほ場整備事業

番 号

1-③-3

路線名

ヒガシニ
東 谷



農地防災施設

番 号

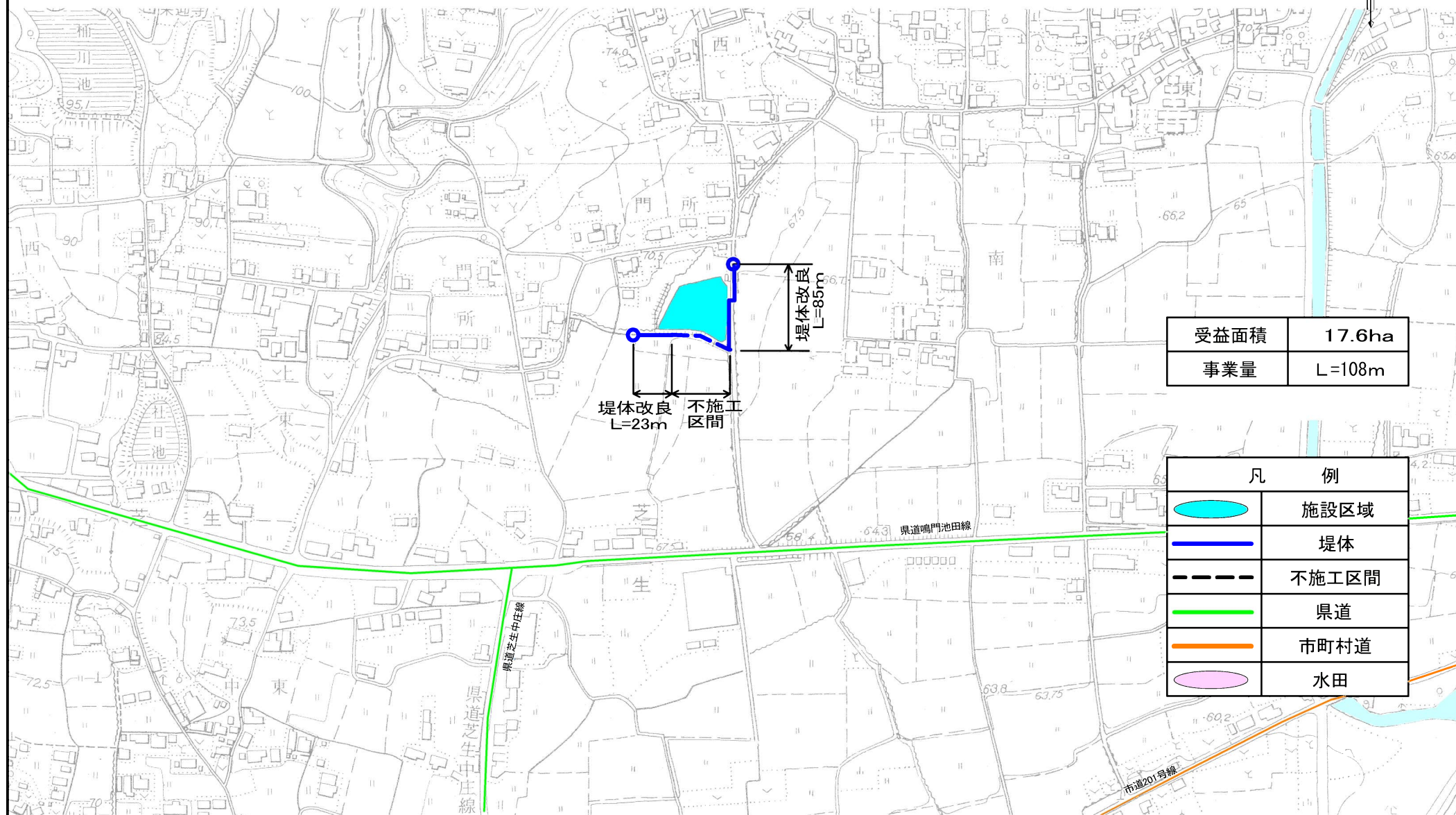
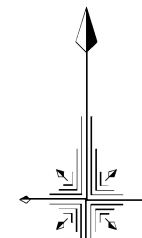
1-④-1

路線名

モンジョイケ
門所池

計画平面図

S=1:5000



受益面積

17.6ha

事業量

L=108m

凡 例



施設区域



堤体



不施工区間



県道



市町村道



水田